

平成30年度学校評価報告書

平成31年3月12日

1 本年度の学校教育目標

- (1) 科学的な思考力の育成と生産力を高める知識・技術を習得させる。
- (2) 豊かな教養と情操を涵養し、さらに北方生活に適する強靱な身体を育成する。
- (3) 地域社会の実態を認識し、ボランティア活動等を通して生涯学習活動を推進する。
- (4) 個性の伸長と確立に努め、自主・協調の精神を培う。
- (5) 勤労を尊び自然を愛する精神を養う。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	- 授業改善の推進と評価法の検討を図る必要がある。 - 公開授業、合評会の活用による資質向上や校外研修への積極的な参加が必要である。 - 授業規律の徹底、言葉遣いなどマナー指導が必要である。	- 授業参観等を実施し、さらに開かれた学校を目指してほしい。 - 地域の教材、人材をより利用し進めてもらいたい。 - 生徒の学習意欲を高め、学習内容の向上を目指してもらいたい。
改善方策	- 授業公開日の設定を行い、開かれた授業を実施する。 - 育成を目指す資質能力を明確にし、授業改善を図る。 - 授業を通して、授業規律の再確認と言語活動の充実を図る。を行う。	
生徒指導	- いじめ未然防止に向け、生徒個々の理解を深める教育相談の推進に努めた。 - 特別活動の充実やボランティア活動の推進を図り、生徒の自主的自発的活動の促進に努めた。	- いじめの早期発見、対応には今後も最善を尽くしてもらいたい。 - 村の高齢化問題と地域の活性化のため、若い力を利用し除雪作業などボランティア活動を進めてほしい。
改善方策	- 生徒の状況について、日常的・計画的な情報共有により、組織的な対応を行う。 - 校内巡視や教育相談の強化、充実を図る。 - 農業クラブ活動や部活動など生徒の諸活動の充実、発展を図る。 - 地域の高齢者施設、小中学校、特別支援学校との連携を行う。	
進路指導	- 早期からの進路指導ガイダンスやキャリアカウンセリングの充実に務めた。 - インターンシップの推進に努め、進路実現へと繋げることができた。 - 適性検査の導入により個々の適性の把握ができた。	- マナー、モラル指導を行い、社会人としての思考、態度を身につけさせてほしい。 - 専門性を活かした就職先や国立大を含めた進学先など、さらに充実させてほしい。
改善方策	- 進学、就職希望者に対する講習の充実を図る。 - 大学進学を目指す生徒への指導体制の確立を図る。	
情報公開・説明責任	- 学校便りやホームページ等を通し、積極的な情報発信に努めた。 - 学校評価結果の公表を適時・適切に行えた。	- 農業クラブの活動など、より地域に見てもらえるよう情報発信をしてほしい。 - 高校PRのため、継続して情報発信をお願いしたい。
改善方策	- 年度末の学校評価に加え、年度途中において反省を行い、教育活動の修正を図る。 - ホームページの小まめな更新や学校便りを発行し、公開していく。	
保護者・地域との連携	道の駅販売会や各イベント、ボランティアなど地域との連携に努めた。	- 地域貢献に対する先生方の意識が高い。 - 月1回発行の村の広報誌に学校の様子等を載せていただき、高校の貢献度など見える化を図る。
改善方策	- 地域から期待されるよう情報発信方法を精査する。 - 今後も教育資源や外部人材の有効活用に積極的に取り組む。	
公表方法	P T A 総会及び支部懇談会、学校便り、P T A 便り、学校ホームページ等で公表。	